

学年	教科	科目名	教科書名
高3 (特理)	地歴科	日本史特講	日本史A新訂版(清水書院)

1 授業の目標

- 1 我が国の近現代の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察する。
- 2 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
- 3 主体的で対話的な歴史学習を通して、現代の日本と世界についての課題意識や思考力・判断力・表現力等を養う。
- 4 歴史学の方法論を用いて、クリティカル・シンキングを実践する。

2 授業のすすめ方

- 1 前年度の日本史Aからの継続授業です。
- 2 担当者が用意したプリントやスライドを使用して授業を展開します。教科書とiPadを毎回必ず用意し、適宜ノートをとるなどして、積極的に受講してください。
- 3 重要事項を暗記するだけでなく、歴史の全体像を把握することに努めてください。
- 4 アクティブラーニングの一環として、単元を通じての問いを提示し、単元終了後に答えを論じる課題を出します。自ら思考し、その考えを表現する技能を身につけてください。また、プレゼンテーションも実施予定です。高校2年生で身につけた力をさらに伸ばしましょう。

3 学習上の留意点

- 1 歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが、教科書にまとめられています。人物名・事件名・年号などを暗記することも大切ですが、歴史事象の背景を理解することによって、歴史的思考力を養うことができます。授業ではそのことを意識して臨んでください。
- 2 スライドで授業を行う意図は、皆さんが主体的に活動する時間を増やすためです。最低限のことを書き終えたからといって考えることをやめてはいけません。教科書を熟読する、前後の事項との因果関係を考える、現代への影響を見つけ出す等、能動的に取り組む姿勢を期待します。
- 3 インプットした知識は、何度もアウトプットすることで自分ものになります。他者との対話や問題演習を通して、知識のアウトプットに努めてください。

4 評価の観点

- 1 定期考査3回(100点×3)。記述方式で実施予定です。
- 2 平常点(1学期20点、2学期10点)。授業に取り組む姿勢、スライドへの記入内容、課題の提出状況、アクティブラーニングへの取り組み方等を総合的に評価します。

5 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標		
一 学 期	四 月	第2編 大戦期の世界と日本 第2章 第二次世界大戦と日本	定期考査 授業に取り 組む姿勢	1 あいつぐ恐慌が日本の社会や政治の方向にどのような影響を与えたかを読み解く。また世界恐慌に対する我が国の対応策を世界と比較しながら多角的に分析する。 2 第二次世界大戦からアジア太平洋戦争に至る過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取り、それをもとに現代の諸課題について考察する。 3 GHQによる改革は戦後の日本社会をどのように改革しようとしていたかを考察する。		
		1 金融恐慌と外交政策 2 世界恐慌と昭和恐慌 3 満州事変と国際連盟脱退				
	五 月	4 二・二六事件と日中戦争 5 第二次世界大戦と日本	スライドや プリントの 内容			
		6 日独伊三国同盟と日米の対立 7 アジア太平洋戦争（太平洋戦争）の勃発				
	六 月	8 日本占領下のアジア 9 戦時下の国民生活 10 日本の敗戦	アクティブ ラーニング への取り組 み方			
		第3編 現代の世界と日本 第1章 戦後政治の動向と国際社会				
		1 占領と改革 2 占領下の政治と労働運動 3 日本国憲法の制定				
	七 月					
	二 学 期	九 月	4 冷戦と占領政策の転換 5 大戦後の国際情勢と日本の独立 6 戦後の国民生活と文化		定期考査 授業に取り 組む姿勢	1 冷戦の激化が日本の占領政策に及ぼした影響を考察する。さらに日本の国際社会復帰と日米安保条約の締結がもたらした課題を点検する。戦争体験、物資不足、民主化が国民にもたらした影響についても考察する。 2 55年体制の成立の背景と安保闘争の意義を考察する。 3 1970年代の日本の政治経済状況と世界情勢の動向を多面的に捉える。経済大国意識や行革路線が現代の社会に与えた影響にも着目する。
			第2章 経済の発展と国民生活の変化			
十 月		1 55年体制の成立 2 平和運動と安保闘争 3 高度経済成長 4 高度経済成長期の日本と世界 5 安定成長から経済大国へ 6 経済大国へのみち	スライドや プリントの 内容			
十一 月		復習等	アクティブ ラーニング への取り組 み方			
十二 月						

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後する可能性があります。